

2016年度
(株)クボプラ 環境活動レポート
2016年1月1日～2016年12月31日



株式会社 クボプラ

発行：2017年2月28日

1. 組織の概要

(1) 事業所及び代表者氏名

事業所名 : 株式会社クボプラ

代表者氏名 : 代表取締役 久保 安宏

(2) 所在地 : 〒198-0052

東京都青梅市長淵 4-239-2

(3) 環境管理責任者氏名 : 久保 巨京

連絡先 T E L : 0428-24-5511 F A X : 0428-24-4121

E-mail : kubo@kubopura.con

(4) 事業概要 : プラスチック加工業

(5) 事業規模 (2016年5月現在)

・資本金 : 2,000万円

・従業員数 : 20名

・敷地面積 : 666㎡

・床面積 : 764㎡

2.環境方針

環境方針

基本理念

当社は奥多摩の雄大な山々に抱かれ、多摩川、蛍の舞う清流に臨む豊かな自然環境に在ります。地球環境の保全が人類に於ける重要課題のひとつであることを認識し、この美しい自然環境を守り調和し、地域社会と共存していく努力を行うことが企業としての社会的責任であると考え、環境に配慮した事業活動に積極的に取り組みます。

行動指針

1. 樹脂加工を中心とした事業活動の中で、環境の保全と汚染の防止に継続的に努める。
2. 環境関係法規制、条例、協定その他の要求事項を遵守する。
3. 在庫管理の徹底化と環境に優しい資材の調達及び効率的な利用に努め、廃棄物の削減と省資源化を推進する。
4. 製造工程の効率化を図り、全社一体となって省エネルギーに努める。
5. 廃棄物と再生可能品との分別を徹底し、資源の有効活用、リサイクルに取り組む。
6. 環境への取り組みを環境活動レポートとして取りまとめ公表します。

2016年2月15日

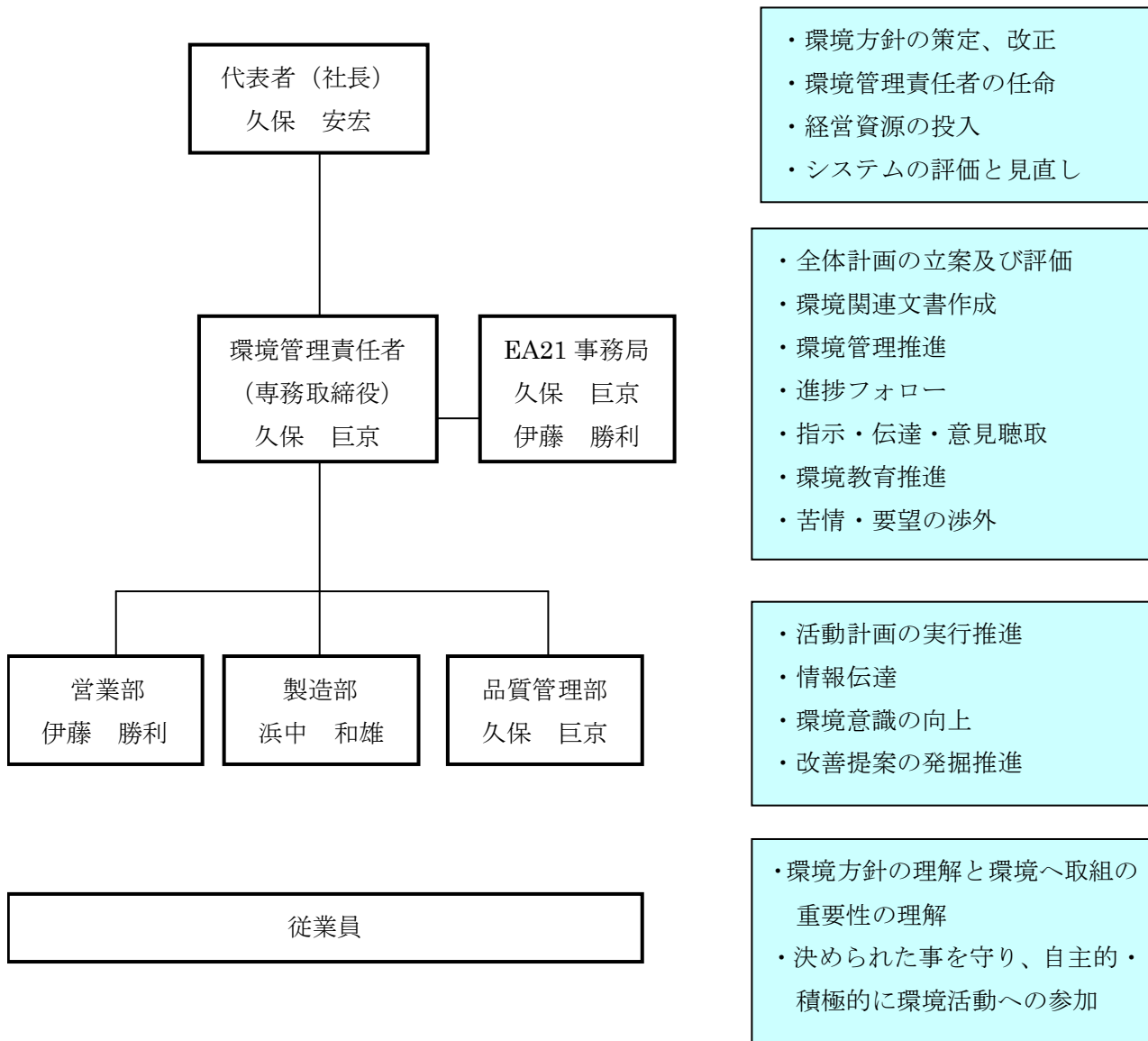
株式会社クボプラ

代表取締役

久保安宏

3. 実施体制

環境管理推進体制



4. 過去3年間の実績

	2013 年度	2014 年度	2015 年度
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	45544	52312	52058
電力使用量(kwh)	76022	79966	75917
ガソリン使用料(ℓ)	3925	3577	3459
総排水量(m ³)	163	180	161
産業廃棄物排出量(m ³ 、t)	4.52(t)	4.94(t)	5.97(t)

注記) 2013 年度は購入電力の二酸化炭素排出係数は 0.418 kg-CO₂/kwh を適用

2016年度 ㈱クボプラ 環境目標

大項目	項目名	2016年度	2017年度	2018年度
【1】 二酸化炭素削減	二酸化炭素排出量削減	2014年度実績に対し、1%削減	2014年度実績に対し、2%削減	2016年度実績に対し、1%削減
	① 電力使用量の削減	2014年度実績に対し、1%削減	2014年度実績に対し、2%削減	2016年度実績に対し、1%削減
	② ガソリン使用量の削減	2014年度対比、2%削減	2014年度対比、3%削減	2016年度対比、1%削減
【2】 廃棄物削減	① 産業廃棄物（廃プラスチック）の削減	2014年度排出実績に対し、1%削減	2014年度排出実績に対し、1%削減	2016年度排出実績に対し、2%削減
【3】 節水	水使用量の削減	2014年度使用量実績に対し、11%削減	2014年度使用量実績に対し、12%削減	2016年度使用量実績に対し、1%削減
【4】 樹脂の再資源化	各種樹脂の分別による再資源化の促進	再資源化率の把握		
【5】 化学物質管理	樹脂接着用溶剤（微量）	適正管理		
【6】 グリーン購入	文房具類（事務用品）	エコマーク品を優先的に購入		

5. 2015年度の環境活動計画（具体的取組内容）

		項目	活動計画 - 具体施策 -
削減項目	二酸化炭素排出量	1.電力使用量の削減	①昼間不用時の消灯、電源 OFF ②PCのスリープモード設定 ③空調温度の適温化（冷房：28℃/暖房：20℃）
		2.ガソリン使用量の削減	①制限速度の厳守 ②アイドリングストップ ③タイヤ空気圧の適正化 ④納品運搬経路の効率化
	産業廃棄物（廃プラスチック）の削減		①マニフェストをもとに適正な処理 ②再資源化率の把握、分別排出の励行
	節水		①節水呼びかけ ②水道配管からの漏水の定期点検
管理項目	各樹脂の分別による再資源化		①分別回収方法の整備 ②再資源化率の把握
	化学物質管理		樹脂接着用溶剤の適正管理
	グリーン購入		文房具類はエコマーク品を優先的に購入

6. 環境数値目標の実績（2016年1月1日～2016年12月31日の活動結果）

	項目	単位	基準年度 2014年 (1～12月)	2016年度 (1～12月) 目標	2016年度 (1～12月) 実績	達成 状況
削減 項目	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	53120	52588	53715	△
	電力使用量	kwh	79966	79166	81867	△
	ガソリン使用量	ℓ	3577	3505	3363	○
	産業廃棄物排出量	t	4.94	4.84	5.97	△
	総排水量	m ³	180	160	154	○
管理 項目	各種樹脂の再資源化	分別回収方法の再整備中				
	化学物質管理	適正管理				○
	グリーン購入	文房具類はエコマーク品を優先的に購入				○

（注記） 購入電力の二酸化炭素排出係数は 0.530 kg-CO₂/kwh を採用した

7. 環境活動計画の取組み結果とその評価、次年度の取組み内容

6.1 環境活動計画の取組み結果と評価

	項目	環境活動結果の評価
削減項目	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量は増加してしましたが、ガソリン使用量は削減できた事もあり、ほぼ達成。
	電力使用量	僅かに増加となってしましたが、事務所内の窓ガラスを複層ガラスでの二重サッシと、ブラインド設置の改築を実施した事等もあり、大幅な増加は防げた。
	ガソリン使用量	ガソリン使用量は効率的な運用が慣例化し、目標を達成。
	産業廃棄物排出量の削減 (廃プラスチック)	産業廃棄物については分別回収が定期化しているが、一部のマテリアルリサイクル対象材質が不適合となり、前年度と同じ数値となってしまった。
	節水	節水意識の定着化もあり、目標達成。
管理項目	各種樹脂の再資源化	樹脂の再資源量は集計できたものの、今期からの分別回収品目の減少により、再資源化率が算出できず評価対象外とした。
	化学物質管理	樹脂接着用溶剤の適正管理
	グリーン購入	文房具類はエコマーク品を優先的に購入

6.2 次年度の取組み内容

EA21 環境経営システムは基本的に次年度も当初の計画に基づき実施する。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認および評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社に関わる環境関連法規等の遵守評価の結果、違反はありませんでした。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

	法規制等名称	義務事項	遵守評価
1	廃棄物処理法	一般廃棄物 ・市の分別回収に従う	違反無し
		産業廃棄物 ・産業廃棄物置場の保管基準の順守 ・産業廃棄物の委託契約の締結 ・産業廃棄物マニフェストを収集運搬/処分委託業者へ交付し回収する ・マニフェストの前年度交付状況の報告	違反無し
2	資源有効利用促進法	・使用済みPCの販売事業者への引き渡し	対象案件なし
3	家電リサイクル法	・買替、廃棄等業者引渡し時リサイクル料の支払	対象案件なし

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

代表者(社長)による見直しの内容	
1)環境方針	現環境方針で進める
2)環境目標及び計画	環境活動計画を基に2014年度実績に対して削減目標達成を目指す 樹脂の再資源化に関しては、2016年度実績に対して新たに目標設定を掲げる。
3)社会・取引先・法律等への対応	外部からの要請もないことから現状のまま対応する
4)システムのその他の要素	前年度構築したEA21環境経営システムを現状のまま運用する

以上